岡山医療専門職大学

健康科学部 理学療法学科 作業療法学科

令和７年度

学校推薦型選抜 公募制推薦(前期)試験問題

小 論 文

（60 分）

注意事項

1. 問題用紙は合図があるまで開かないこと。
2. 問題は 2 ページに記載されている。
3. 受験番号と氏名は所定の欄に、楷書で正確に記入すること。
4. 解答はすべて解答用紙に黒鉛筆またはシャープペンシルで記入すること。
5. 解答用紙と問題用紙は必ず提出すること。

問　　題

下の課題文「健康寿命を延伸させ平均寿命に近づけることの意義」について要点をまとめ、資料１と資料２から健康寿命と平均寿命の差を少なくするために医療技術者ができることについてあなたの考えを８００字以内で述べなさい。

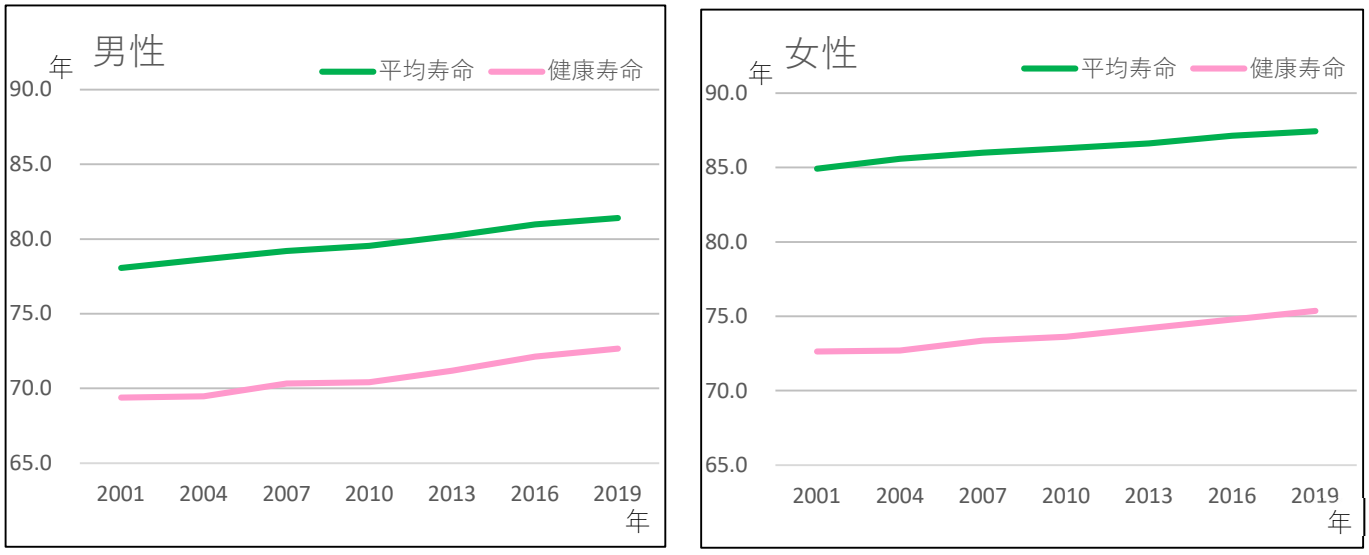
【課題文】

わが国では、医療技術が発展しその技術が普及することにより、平均寿命は世界でもトップクラスとなりました。その一方で、食生活の欧米化や、生活環境の変化などから、高血圧や脂質代謝異常、がん、糖尿病といった生活習慣病を有する人の割合が増加しました。生活習慣病は加齢とともに病気にかかる割合が上昇し、生命に関わる重たい病気を引き起こすことから、その対策は重要な課題であると言えます。

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を健康寿命といい、超高齢社会の現在のわが国においてこれを平均寿命に近づけることは重要な意味を持っています。健康寿命を延ばすことにより、要介護者が減り医療費や介護給付費の削減につながります。また、労働生産性の向上が期待でき、活力のある社会にもつながり、何より個々人の幸福が実現できると考えられています。

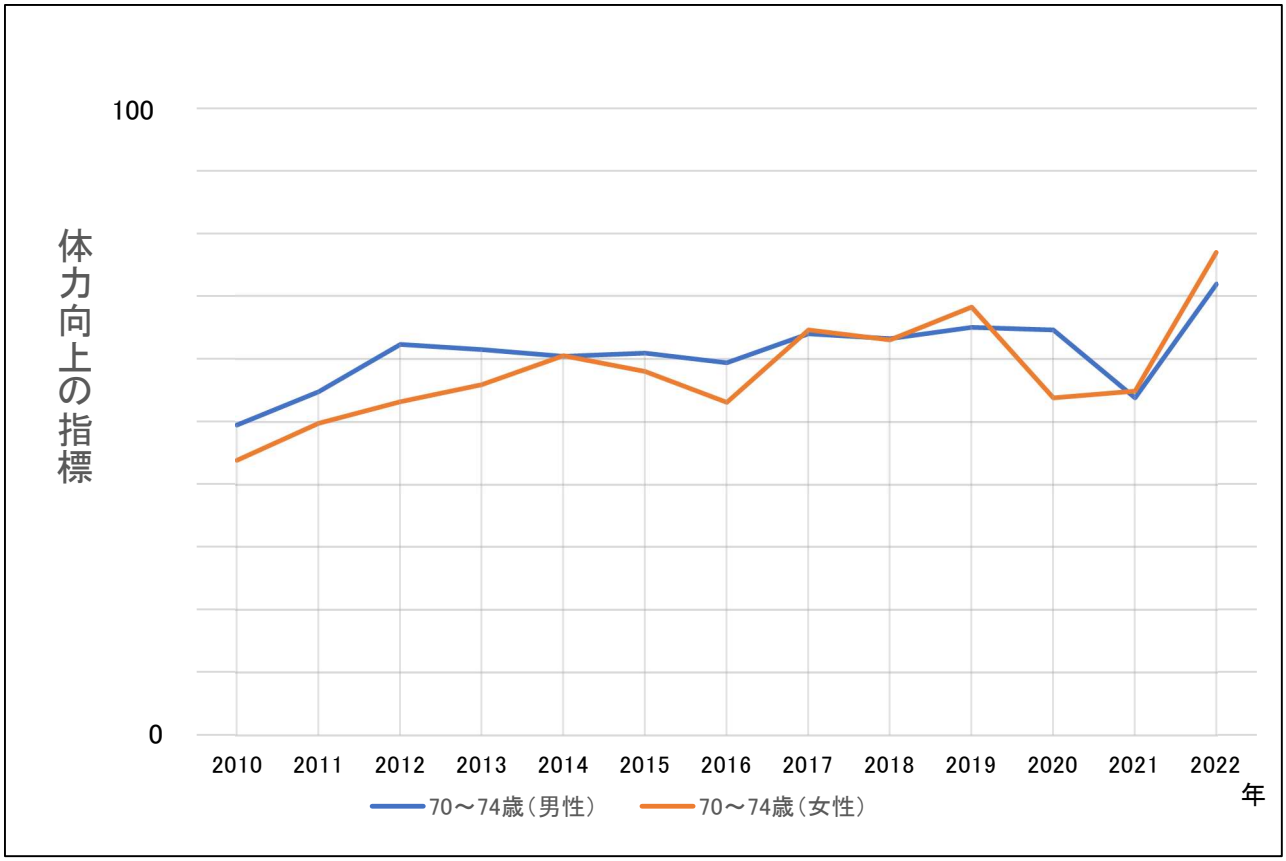
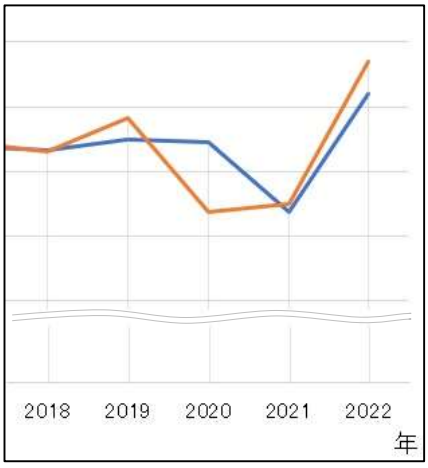
このような観点から、超高齢社会のわが国においては健康寿命を延ばすために、生活習慣病の治療もさることながら、その予防に重点を置くべきであるとされています。

【資料１】健康寿命と平均寿命の推移



出典:「令和５年版高齢社会白書」（内閣府）より抜粋

【資料 2】新体力テストの結果の推移



出典：「体力・運動能力の調査」（スポーツ庁）より抜粋